

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32006
学校名：新川中学校

改訂のポイント		<p>○取組の最重点の改善（校内研修の柱である「対話」を中心とした文言にした。） ○具体的な取組の改善（過去の有効な方法を継続するとともに新たなアイデアを取り入れた。）</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆主体的に粘り強く学ぼうとする生徒 ☆学んだことを活かしながら、学びを深め、より良い学びにしていこうとする生徒</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】 生徒の内発的な動機付けを大切にしながら、意欲的に学習に取り組ませる。</p>	<p>【成果】 ⇒「自分にとって、どのように勉強するのが良いか分かっている」の肯定的な回答が4ポイント伸びた。</p>	<p>【課題】 ◇生徒が興味を引く題材の選定や課題の設定を工夫する。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】 思考力・判断力・表現力を活用しながら学びを深めていく授業を構築する。</p>	<p>【成果】 ⇒「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」の肯定的な回答が、13ポイント伸びた。</p>	<p>【課題】 ◇生徒が進んで自らの意見を全体や小グループで言える場面を意図的に設ける。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】 目標をもち、計画的に学習し、基礎・基本を習得できる学習習慣を身に付けさせる。</p>	<p>【成果】 ⇒「勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている」の肯定的な回答が、10ポイント伸びた。</p>	<p>【課題】 ◇計画を立てて学習する習慣を一層喚起し、個別対応に力を入れる。</p>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生徒自らが教材・友達・自分自身と「対話」しながら学びを深めていく場面を、授業の中に意図的に設定する。</p>		
	具体的な改善策（取組）	<p>○年間指導計画に、特に「対話」を重点とする単元・題材を明確にして、生徒一人一人の資質・能力を育むことにつなげる。 ○すべての教科において、思考力・判断力・表現力をみとる工夫をし、評価資料に含める。 ○各学年でコミュニケーショントレーニングを実施し、生徒が自然に「対話」に取り組める習慣を付ける。 ○学習への目的意識を喚起し、学習に対する意欲とその方法をきめ細かく評価する。 ○家庭学習記録表（ダイアリー）の活用や、放課後や昼休みのミニ補習講座、長期休業中の補習授業の実施。 ○「週末課題」や「振り返りノート」といった学習習慣を定着させる取組。 ○少人数指導やチームティーチング、学びのサポーターによる、きめ細かな指導の充実。</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○各教科等の評価基準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）。 ○全国学力・学習状況調査の結果の活用。 ○標準学力テストTSPの活用。 ○札幌市全体の共通指針（子どもの自己評価）の全校生徒を対象にした資料の活用。</p>		